

日本の トップランナー企業

信頼を力に台湾の工作機械の販売を拡大



GOODWAY製2軸NC旋盤

台湾製を作り込む

台湾製の工作機械の良いとところを取り入れながら、日本のそれぞれのユーザーに合った形にカスタマイズす「売り切り」を基本と

る。そんな独特な立ち位置で業績を伸ばしている輸入販売会社がグローバルテクノスだ。2003年に創業して今年で15年。売上も急激に伸ばしており、昨年度（17年6月期）実績で売上高10億円を達成、今年度も昨年実績をすでに越えている。業界でも一目置かれる存在になろうとしているところに、その実力が示されている。

業界で台湾製の仕事機械が注目されたことは過去にもあった。しかし、その販売方法が「売り切り」を基本と

台湾メーカーと日本のユーザーを「信頼」で結ぶ

台湾の工作機械の良

点、台湾の工作機械を日本に輸入して販売するだけでなく、一般的な輸入代理店が行う以上に、台湾のメーカーと日本のユーザーの間の橋渡しを行う。加工される製品の品質保証はもちろん、メンテナンスや万一製造現場でトラブルが起きた場合の対応も同社が引き受ける。それは、同社が取り扱う工作機械を「機種1メーカー」に絞り、それぞれの過去のデータをもとに、ユーザーの細かい要求を知る手段に欠けていただけ」なのだ。

グローバルテクノス

2軸NC旋盤に

「台湾のメーカーか」と言われていま、その同社が今、最も力を入れているのが、台湾で最大規模のNC旋盤メーカー、グッドウェイ・マシン社（台



メーカーの機械精度をチェックする社員



メーカーの作業者に指導する一面



ユーザー向け2軸旋盤

強い信頼関係で結ばれているというのだ。台湾のメーカーが、最も力を入れているのが、台湾で最大規模のNC旋盤メーカー、グッドウェイ・マシン社（台

中市)の2軸NC旋盤「GTHシリーズ」だ。装置内部に自動搬送装置を内蔵しており、鍛造歯車の表と裏の切削工程をこの1台で自動加工できる。

「ティア1」へ数十台の納入実績と受注残を抱えているが、まだまだこれから需要の裾野は広がると同社では見



小野 雅浩 社長

現場で機械の改造もしている。グローバルテクノスは、このほかにも台湾の工作機械メーカー6社のマシンニングセンターやNC歯車面取り盤などの工作機械を扱う。いずれも世界に向けて売られている実績を持つ機械だ。小野社長は、今後について、「ユーザーが作る新製品に対応して、機械の改造を客先工場の現場でも行えるようにしたい」と事業展開を広げる考えだ。

さらに、台湾のメーカーに深く関わっていることを活かして、そのニーズに合った日本製品を逆に台湾側に販入に對し、代理店としてのきめ細かな対応を評価され、すでにCN Cホブ盤を始めとする日本の工作機械の販売も始め、着々と業容を拡大している。この勢が育ってくるにつれて、ますます増えるだろうと見ている。しかも、台湾製だけにこだわるのではなく、台湾製工作機械の納

株式会社 グローバルテクノス

<http://www.gl-t.co.jp/>

〒533-0033

大阪市東淀川区東中島2丁目9-15日 大和生ビル906

TEL 06-6195-2071 FAX 06-6324-1001